

都市再生整備計画(第1回変更)

たかさご
高砂地区

(地方都市リノベーション事業)

兵庫県 たかさご
高砂市

平成25年10月

様式1 目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	たかさご 高砂市	地区名	たかさご 高砂地区(地方都市リノベーション事業)	面積	151.6 ha
-------	-----	------	-------------	-----	-----------------------------	----	----------

計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度
------	---------------------	------	---------------------

<p>目標</p> <p>少子・高齢化に対応したにぎわいのある中心市街地の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までの各世代、障がい者、子育て家庭等多様な地域住民の交流によるにぎわいのあるまちづくり 少子化の中で望ましい規模の集団での教育・保育を実施するための子育て環境づくり 生活関連交通と産業関連交通の適正な分離による安全・安心な生活環境づくり
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)</p> <p>本市域には、南側を東西方向に走る山陽電鉄と北側を東西に走るJR山陽本線があり、山陽電鉄以南の瀬戸内海に面する臨海部に工業地帯が広がっており、工業地帯の北側の帯状の地域及び国道2号沿道に広がる地域に主要な住宅地が形成されている。山陽電鉄高砂駅周辺、JR宝殿駅周辺や幹線道路沿いにおいては、商業地が形成されている。</p> <p>しかしながら、現状では、少子・高齢化の進行、モーターゼーションの進展による郊外への人口流出に伴い、空洞化や商店街の衰退が生じ、まちなぎわいや活力が低下している。</p> <p>これらの問題点に対応し、持続可能なまちづくりを進めるためには、「都市交流拠点の整備充実」、「地域の拠点性の確保・強化」、「地域間の連携強化」が必要であり、本市としては、にぎわいと活力のあるまちづくりの実現のために、都市交流拠点と地域交流拠点を道路網、公共交通等で結ぶことで連携を強化し、集約型都市構造を目指している。</p> <p>山陽電鉄高砂駅周辺とJR宝殿駅周辺は既成市街地であり、商業地となっているため、それぞれを「中心拠点区域」として位置付ける。</p> <p>中心的な商業地として発展してきた山陽電鉄高砂駅周辺の中心拠点区域は、少子・高齢化が進み、空き家、空地、空き店舗が増加しているが、公共施設が集中しており、今後も市の商業・業務の中核を担う中心地として位置付け、既存の公共施設を有効に活かした整備を行い、地域住民の交流により活力とにぎわいを生み出す交流機能の充実を図る。</p> <p>その他の住宅系市街地では、都市基盤整備を進め住環境の改善を図るとともに、工業系市街地は、住宅系市街地に点在する工場を移転集約し生産性の向上に努める。</p> <p>公的不動産の活用策としては、公共施設の集約化を念頭に、統廃合等により生じる空き施設について、地域のニーズを満たす機能を有する複合施設や老朽施設の代替施設として活用するほか、低未利用地については人口流入を図るため民間活力により住宅地等として利活用するなど、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図る。</p>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・本地区は、江戸時代初めに姫路藩により基盤目状に再整備された計画都市を起源とし、この時代に形成された街区や道の構成を継承している。</p> <p>・かつて加古川の舟運により栄えた臨海部の活性化を目指し、平成17年に「高砂みなとまちづくり構想」を策定しており、市民との協働によりまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>・山陽電鉄高砂駅西約500mに位置する旧国鉄宿舍跡地においては、「高齢者が若い世代と交流を持ちながら生きがいを持って明るく暮らせる地域社会の実現」を目標とした「高砂ユニー・アイ・タウン地区計画」を定め、福祉ゾーンには特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、介護老人保健施設等が開設され、他のゾーンには県営高層住宅、市営住宅及び戸建住宅の整備が進められてきた。</p> <p>・平成18年に兵庫県条例により景観形成地区に指定され、歴史的資源の保全・再現などの景観まちづくりを進めている。</p> <p>・商店街では空き店舗が目立つとともに、その他の地域でも人口の減少に伴い空き家・空地も増加しつつあるが、商店街においては民間団体と協力し、高砂アートタウンプロジェクト(空き家・空き店舗にアーティストや事業者を誘致する活動が中心)を行っている。</p> <p>・景観形成地区指定をきっかけに多くの歴史的資源や文化・伝統を継承し、活性化と文化の向上、地域発展の基盤づくりを目的として、実行委員会形式による「たかさご万灯祭」を実施している。</p> <p>・公共交通の利便性向上のため、平成23年に山陽電鉄高砂駅のバリアフリー化を実施した。</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者がコミュニティの一員として地域社会に参加し、地域住民どうしが交流を図りながら生き生きと住み続けられるまちづくりが求められている。 ・住民が日常的に利用する地域福祉の拠点を統合し、交流機能を付加し、住民や教育施設等との協働により交流の拡大を図っていく必要がある。 ・少子化の進展の中で教育効果、保育環境の低下を避けるため、幼稚園・保育園は施設の共用化により適正な規模を維持する必要がある。 ・駅へのアクセス路をより安全なものとし、高齢者や子どもも安心して歩ける歩行空間の整備が必要である。 ・臨海部の産業関連交通を担う幹線道路が未整備のため大型車輛が住宅街を通行しており、良好な居住環境の保全と交通安全の面から、生活関連交通と産業関連交通を適正に分離する必要がある。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【総合計画】</p> <p>・本地区は、総合計画においては、古くから発展してきた地区で公共施設が集中しているため、中心市街地ゾーンとして位置付けている。また、山陽電鉄高砂駅周辺は都市交流拠点として、山陽電鉄荒井駅周辺は地域交流拠点として位置付けており、これら鉄道駅周辺整備の推進については、駅前広場や駐輪場の整備など交通の利便性を図るとともに、地区間のコミュニティ形成や利便性向上のための連絡路等の整備、市街地再開発事業等の都市基盤の再編整備を検討することを定めている。</p> <p>【都市計画マスタープラン】</p> <p>・都市計画マスタープランにおいては「歴史と産業が調和したにぎわいのあるまち」をまちづくりのテーマとし、住宅地の住環境の改善やまちなみの保全を図るほか、交通の利便性・安全性を図るとともに、防災拠点の形成など地域の安全性の向上を図ることを掲げている。</p> <p>【高砂ユニー・アイ・タウン地区計画】</p> <p>・高砂ユニー・アイ・タウン地区計画における土地利用の方針では、三世代交流を支援し、良好な居住環境を図るため、特別養護老人ホーム等福祉施設、集合住宅、戸建住宅、生活利便施設を適正に配置することを定めている。</p>

リノベーション事業の計画

都市機能配置の考え方

・山陽電鉄高砂駅周辺を中心市街地は、鉄道駅や大型商業施設、商店街等を中心とした機能を備えてはいるが、人口減少と少子・高齢化の進展に伴い、地域のにぎわい・活力が低下しつつあるため、若い世代を呼び込めるよう子育て支援や世代間交流を促進する機能を配置し、また、古いまちなみの活用と合わせて、市民が愛着と誇りをもてる観光機能、交流機能の充実を図る。商業機能については、人口が減少する中でも利便性を保つ必要があり、現状の商業地域を基本として維持を図る。
 ・高砂ユニー・アイ・タウンにおいては、地区計画に基づき、特別養護老人ホーム等福祉施設、集合住宅、戸建住宅等を配置してきており、地区内の福祉ゾーンに複合施設を整備し、世代間などの交流と情報発信の機能強化を進める。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方(民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む)

・高砂地区については、都市計画マスタープランで「歴史と産業が調和したにぎわいのあるまち」をまちづくりのテーマとしており、世代間の交流によるにぎわいを生み出すため、「高砂ユニー・アイ・タウン」内に複合施設である福祉交流センターを整備し、地域包括支援センター、高齢者、障がい者、子育て関係者を含めた地域住民の交流スペース、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターなどの機能を確保する。福祉交流センター内には社会福祉法人高砂市社会福祉協議会の事務スペースも確保し、地域福祉事業への支援を行い、官民一体となった地域交流の拠点とする。

・将来に渡って持続可能な都市とするためには、都市機能の一つである子育て支援機能についても集約化、拠点化を図り交流を促進する必要がある。高砂幼稚園という既存ストックを有効利用するためこれを改修し、高砂西保育園を移設することで幼保一体化施設とし、一定規模の児童数を確保することで、少子化の中でも適切な教育・保育を行い、子育て環境を向上させるとともに、近接する福祉交流センターとの連携等により世代間や地域内の交流事業を行うことでにぎわいの再生を図る。

地方都市リノベーションに必要なその他の交付対象事業等

高砂102号線歩道新設事業、木曾町南北道路新設事業及び高砂西港周辺道路整備事業については、リノベーション推進施設である福祉交流センター及び高砂こども園が目指す交流の場づくり、にぎわいの再生に資するよう、これらの施設へのアクセス性を高めるため、既成市街地における交通の安全安心の確保及びボトルネックの解消を図るものである。

目標を定量化する指標

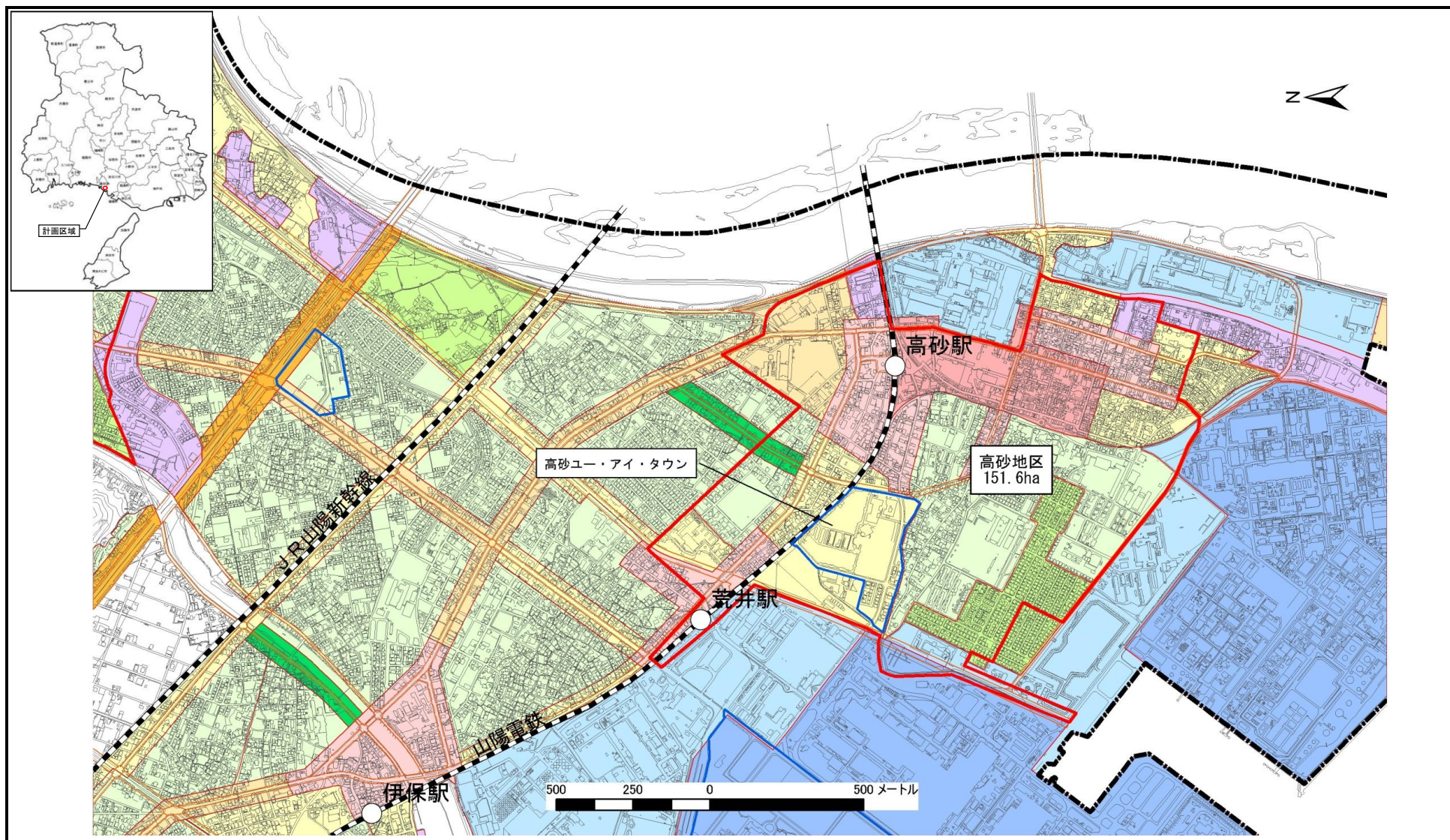
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
福祉交流センターにおける交流事業参加者数	人／年	福祉交流センターにおける交流事業参加者数の比較(現福祉センター、子育て支援センターでの実施分との比較)	福祉交流センターにおける交流事業参加者の増加により、住民どうしの交流が活発化することでにぎわいの再生を図る。	16000人／年	18000人／年	H23	H27
幼保一体化施設における交流事業参加者数	人／年	幼保一体化施設における世代間及び地域内交流事業参加者数の比較(高砂西保育園及び高砂幼稚園での実施分との比較)	幼保一体化施設での世代間及び地域内交流事業参加者の増加により、子育て世代を巻き込んだ交流を促進し、にぎわいの再生を図る。	570人／年	720人／年	H23	H27
高砂西港周辺道路整備に伴う自動車交通の分散化の割合	%	宮前線(南部産業区域から加古川右岸堤防を北上する道路)と今回整備の高砂西港周辺道路を通行する自動車台数の割合	宮前線を通行する産業関連車両が減少することで安全安心に寄与する。	宮前線：100% 西港線： 0%	宮前線： 65% 西港線： 35%	H23	H28

様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【多様な地域住民の交流によるにぎわいのあるまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高砂ユニー・アイ・タウン福祉ゾーンに交流拠点としての機能を有する複合施設として福祉交流センターを整備し、世代間や地域住民の交流の輪を広げ、地域の活性化を図る。 	<p>福祉交流センター新築事業(地方都市リノベーション推進施設/地域包括支援センター) 福祉交流センター新築事業(高次都市施設/地域交流センター)</p>
<p>【少子化の中で望ましい規模の集団での教育・保育を実施するための幼保一体化施設や子育て支援の拠点づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高砂幼稚園を改修し、高砂西保育園との幼保一体化施設として整備することで、望ましい規模の集団での教育・保育を実施し、地域住民や高齢者との交流や異年齢児とのふれあい体験ができるようにするとともに、複合施設としての福祉交流センターにおいて子育て支援事業を実施するなど、子育て支援の拠点として活用する。 	<p>高砂こども園整備事業(既存建造物活用事業/保育所・幼稚園) 福祉交流センター新築事業(高次都市施設/地域交流センター)</p>
<p>【生活関連交通と産業関連交通の適正な分離による安全・安心な生活環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な居住環境の保全と交通安全対策のため、高砂西港周辺道路整備事業により生活関連交通と産業関連交通の適正な分離と交通量の分散を図る。 ・山陽電鉄荒井駅から福祉交流センターへの歩行者の安全性・利便性向上のため、高砂102号線に歩道を新設する。 ・木曾町南北道路新設事業により、計画区域南部の住宅地域から福祉交流センターへのアクセス向上を図る。 	<p>高砂西港周辺道路整備事業(道路) 高砂102号線歩道新設事業(道路) 木曾町南北道路新設事業(道路)</p>
事業実施における特記事項	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、市、兵庫県東播磨県民局、商工会議所、観光協会、商店街連盟、町連合自治会等からなる実行委員会と市民ボランティアにより「たかさご万灯祭」等の事業を実施し、にぎわいを創出するよう努力を続けている。 ・NPO法人、商工会議所、観光協会と協力し、商店街の空き家・空き店舗にアーティストや事業者を誘致するという活動を中心とした高砂アートタウンプロジェクトを行い、現在8店舗が活用されている。 ・江戸時代の学問所「申義堂」を復元し、市指定文化財として一般公開しており、訪れた人に解説ができるようガイドボランティアの養成を行っている。 	

都市再生整備計画の区域

高砂地区(兵庫県高砂市)	面積	151.6 ha	区域	高砂市高砂町の一部と荒井町の一部
--------------	----	----------	----	------------------



高砂地区(兵庫県高砂市) 整備方針概要図

目標	少子・高齢化に対応したにぎわいのある中心市街地の再生 ・子どもから高齢者までの各世代、障がい者、子育て家庭等多様な地域住民の交流によるにぎわいのあるまちづくり ・少子化の中で望ましい規模の集団での教育・保育を実施するための子育て環境づくり ・生活関連交通と産業関連交通の適正な分離による安全・安心な生活環境づくり	代表的な指標	福祉交流センターにおける交流事業参加者数 (人/年)	16000人/年 (23年度) → 18000人/年 (27年度)
	幼保一体化施設における交流事業参加者数 (人/年)		570人/年 (23年度) → 720人/年 (27年度)	
	高砂西港周辺道路整備に伴う自動車交通の分散化の割合 (%)		宮前線: 100%・西港線: 0% (23年度) → 宮前線: 65%・西港線: 35% (28年度)	

